

八重瀬町長杯中学ハンド

ハンドボールの第13回八重瀬町長杯争奪第38回県中、日、具志頭社会体育館で決

勝が行われ、男子は神森が連続14度目の優勝を果たした。女子決勝は仲西が美東を31-14で圧倒し、2年連続14度目の頂点に立った。

神	27	9	あ	な	港	仲
西	23	13	東	風	平	川
西	34	26	仲	西	西	神
仲	31	24	西	西	神	仲
西	35	17	18	16	9	25
港	19	25	19	25	19	25

神	35	17	18	16	9	25
西	31	24	26	27	9	25
仲	23	13	27	9	25	27
西	34	26	31	24	26	34
仲	31	24	34	26	31	24

仲	27	15	神	32	12	南	風	原
西	27	15	仲	31	17	9	5	14
仲	27	15	仲	31	17	9	5	14
仲	27	15	仲	31	17	9	5	14
仲	27	15	仲	31	17	9	5	14

仲	27	15	神	32	12	南	風	原
西	27	15	仲	31	17	9	5	14
仲	27	15	仲	31	17	9	5	14
仲	27	15	仲	31	17	9	5	14
仲	27	15	仲	31	17	9	5	14

女子仲西 雪辱V2

女子仲西は前半、速攻を生かした8連続得点で波に乗り、去年から負けが続いていた美東を31-14で圧倒して連覇を達成した。

8月の全国中学校体育大会で美東が3位入賞と活躍する間、新チームとなった仲西はコート往復する3分走などで持久力を強化し、雪辱に燃えていた。

その成果は開始直後に表れる。GK仲西香翔がシュートを止めると、フリーの選手にロングパスを正確に送りシュート。この形で得点を重ねた。守備ではゴール前に選手を並べる6-0ディフェンスを張り、接近戦になると体を寄せてシュートコースをつぶし、失点を抑えた。

主将の田里優生は「悔しい思いをしてきた美東に勝つ、先輩に続いて連覇できてうれしい」と笑顔。GKの仲西は「自分もチームも大会で一番の出来だった。相手が全国3位と意識せずに、戦えたことが良かった」と振り返った。

持久力強化 攻守で威力



⑤女子決勝 仲西一美東 前半、仲西の砂川彩羽が10点目のシュートを決める⑥女子を制した仲西二具志頭社会体育館 (田嶋正雄撮影)



チームをつくり直す 平良徳彦・女子美東監督の話 全国3位を支えた3年生はチームから卒業した。準備期間が短く、シュートするべき位置で打たず、守備のマークも分かっておらず、攻守共にちぐはぐだった。全国で戦った生徒も残っており、一からチームをつくり直したい。



男子決勝 神森一港川 後半、神森の宮里海凜が20点目のシュートを決める

神森 隙なしV5

全国中学校体育大会優勝を経て新チームとなった男子神森は、高い個人技と多彩な攻撃で港川を35-25で破り、5連覇を果たした。友利彬彦監督は高い技術を持つ選手たちに、1対1の場面をつかってシュートを打つよう指示。選手たちはシュート姿勢からのパス回しやループシュートなどでかく乱し、点差を広げた。チーム最多9得点の田場心大もスペースを探してパスを供給したり、自らもワンツーパスからゴールを決めたりするなど相手をつぶした。前半を9点リードで終えると、後半もその勢いそのまま勝利した。



男子優勝の神森